

英語リーディングA Reading A

薬：K2-06111MY、生命：K2-06111MS

素養科目 1、2、3 (薬)年／前期 1単位 選択科目

科目責任者 稲田 俊一郎(英語・言語学研究室)

授業担当者 A組1班：三山 美緒子、A組2班：長岡 真理子(非常勤講師)、A組3班：瀬戸川 順子(非常勤講師)
B組1班：長岡 真理子(非常勤講師)、B組2班：松井 直樹(非常勤講師)、B組3班：岡部 了也(非常勤講師)
C組1班：中野 里美(非常勤講師)、C組2班：岡部 了也(非常勤講師)、C組3班：松井 直樹(非常勤講師)
S組1班：杉本 悠(非常勤講師)

■教育目的 (各クラス共通)

大学生に必要な国内外の動向を扱った英字新聞のテキストを読み、精読を含む総合的な読解力の構築と世の中に目を向けて考えることを目的とする。【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-④、YD-⑥、SD-①、SD-②、SD-③】

■学習到達目標 (各クラス共通)

1. 様々な読み方の訓練を行い、状況に応じて使い分けられるようにする。(知識、技能)
2. 多様な題材を取り上げ、それらに特有の表現や段落構成に慣れ、正確に読み取れるようにする。(知識、技能)

■授業内容

A組1班 三山 美緒子

インターネット規制、動物実験など議論を呼ぶような社会問題を扱った英文を読み、英語のパラグラフの構成および論理展開のパターンを学ぶことによって読解力を向上させることを目標とします。社会問題に対する賛成・反対意見を述べる文章を読み、意見を述べる際によく使われる英語表現を覚えて、自分の意見を英語で簡潔に述べる練習を繰り返すことで、幅広い問題に興味を持って考え、自分の意見を適切な英語で表せるようになることも目指します。

[No. 1] イントロダクション・授業の概要の説明

[No. 2-3] Unit 1 Internet Safety or Freedom of Expression?

[No. 4-5] Unit 12 Animal Rights or Human Profits?

[No. 6-7] Unit 4 Real Risk or Great Technology?

[No. 8-9] Unit 6 Separate Smoking Area or Total Ban?

[No. 10-11] Unit 7 Right to Die or Responsibility to Live?

[No. 12-13] Unit 10 Performance or Seniority?

[No. 14-15] これまでの復習

準備学習 (予習・復習)：予習：注を確認したりわからない単語を調べたりしながら指定された箇所を読み進め、理解できない箇所があれば授業中に質問できるよう準備してください (40 分)。復習：教科書の内容や単語を復習してください (30 分)。

授業形態：講義

課題 (レポート、試験等) のフィードバック及び成績評価方法：単語テストや教科書の内容理解問題で理解度を確認し、フィードバックを行います。平常点 (10%：予習、課題、単語テスト) と試験 (90%) で成績を評価します。

教科書：『Pros and Cons』Ichizo Ueda 他著、National Geographic Learning (Cengage)

A組2班・B組1班 長岡 真理子(非常勤講師)

本講義は、英語の多様なトピックに触れながら、学術的・実践的な英語読解力の向上を目指します。段階的に構成された英文を読むことを通して、語彙力、読解ストラテジー、批判的思考力を身につけるとともに、自らの考えを英語で表現する基礎的能力を養うことを目的とします。

[No.1] Course guidance /リーディング教材

[No.2-3] Chapter 2 Is it okay to be late? 遅刻は許されるか？

[No.4-5] Chapter 4 Sign language for everyone 手話でコミュニケーション

[No.6-7] Chapter 5 Our kids are growing up too fast! 子どもの成長が早すぎる！

[No.8-9] Chapter 8 The reliability of eyewitness 目撃者の信憑性

[No.10-11] Chapter 12 Medicine today 進化し続ける医療用ロボット

[No.12-14] 今学期の復習

[No.15] 期末課題に取り組む

準備学習 (予習・復習)：予習：教科書の当該箇所の予習。トピックによってはその背景知識を得る。(30 分以上)／復習：授業中に学習した内容及び語彙の確認 (30 分以上)

授業形態：グループワーク、講義

課題 (レポート、試験等) のフィードバック及び成績評価方法：期末試験 (90%)、小テスト (10%) で総合評価する。

教科書：『Reading Choice, New Edition - Skillsfor Academic Success』(ナショナルジオグラフィックラーニング/センゲージラーニング株式会社)979-8-214-17725-0

A 組 3 班 瀬戸川 順子(非常勤講師)

今後、より専門的な文庫の読解を要求されることを想定して、基本的理解力の充実に努める。下記テキストにより、食と音楽という身近な話題から、実際に使用される英語の表現の多様性や文化的背景に親しむ。文法事項を確認しながら精読するが、慣れたら次第に速度を上げたい。自分で調べる手間を惜しまないで、英和辞書を用意しておくこと。また、随時プリントを使用して速読を試みる。

[No.1] イン트로ダクション 概容説明 その他

[No.2-3] Chapter1 The Beatles とイチゴ

[No.4-5] Chapter2 フジコ・ヘミング、ポテトパンケーキ

[No.6-7] Chapter3 モーツァルト 1 ギルトブルグの料理

[No.8-9] Chapter4 モーツァルト 2 旅行とヨーロッパ各地の味

[No.10-11] Chapter5 ベートーヴェンのこだわり

[No.12-13] Chapter6 滝廉太郎のドイツ留学

[No.14] Chapter7 ショパンとジョルジュ・サンド

[No.15] まとめ

準備学習（予習・復習）：予習：各章のテーマに関して調べておく。／復習：論理の展開、新出単語やそれに関連した表現等を再確認する。

授業形態：講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：練習問題・単語テスト等で理解度を確認し、フィードバックを実施、期末試験(90%)、小テスト(10%)で総合評価する。

教科書：At the Musician's Table: Food and Music 朝日出版社 978-4-255-15722-1

参考書：英和辞典(すでに所持しているものでよい)

B 組 2 班・C 組 3 班 松井 直樹(非常勤講師)

この授業の目的は“英語リーディング”という授業形態を通して、英文読解力・理解力の向上のみならず、筋道を立てて考えを構築する力、批判的に物事を考察する力を養うことにあります。科学技術関連のトピックを扱う BBC / Future ウェブサイトの記事をもとにして書かれた Innovation and Technology をテキストとして使用し、その英文を丁寧に読み進めながら、これらの能力を育成することになります。

授業は講義形式で進めることとなります。教員がパワーポイントで作成した資料を提示してテキストの英文や内容を解説します。学生は素早く、的確にノートをとる作業を行うこととなります。円滑な授業運営を行うために、毎回テキストの指定箇所に対して予習が課されます。

加えて、テキストの内容を超えた英語読解力や幅広い視野を養うために、事後学習では英字新聞・雑誌などを活用して学習することが求められます。

[NO.1] オリエンテーション／ Essay Writing

[NO.2] Unit 1 Driving with the Terminator: Augmented Reality for Cars [1]

[NO.3] Unit 1 Driving with the Terminator: Augmented Reality for Cars [2]

[NO.4] Unit 2 Artificial Human Beings: Intelligent Robots [1]

[NO.5] Unit 2 Artificial Human Beings: Intelligent Robots [2]

[NO.6] Unit 3 Electricity with a Kick: Soccer Ball Power [1]

[NO.7] Unit 3 Electricity with a Kick: Soccer Ball Power [2]

[NO.8] Unit 4 Sustainable Cities: China's Green City [1]

[NO.9] Unit 4 Sustainable Cities: China's Green City [2]

[NO.10] Unit 5 Recreating the Sun on Earth: Nuclear Fusion [1]

[NO.11] Unit 5 Recreating the Sun on Earth: Nuclear Fusion [2]

[NO.12] Unit 7 Plastic that Bleeds: Self Healing Materials [1]

[NO.13] Unit 7 Plastic that Bleeds: Self Healing Materials [2]

[NO.14] これまでの復習／ Essay Writing

[No.15] 期末課題に取り組む

準備学習（予習・復習）：事前学習：テキストの指定箇所を予習(1時間以上)／事後学習：授業内容の確認；英字新聞・雑誌を読んでみる(1時間以上)

授業形態：講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：期末試験(60%)、授業ノート提出(30%)、課題(10%)の合計で成績を評価します。

教科書：『Innovation and Technology -未来を見つめる科学英語』David Rear・印南洋・川口恵子・村上嘉代子著(南雲堂)

B 組 3 班・C 組 2 班 岡部 了也(非常勤講師)

本授業では、様々な内容に関する英文新聞記事を読むことにより、英語で書かれた文章を正確に読み取る訓練を行う。テキストは、政治、環境、テクノロジー、スポーツといった幅広いテーマに関するニュース記事とそれに関連した練習問題から構成される。授業中は、文章の読解および練習問題を通して、様々な分野に関する語彙、イディオム等の表現および文法知識の拡充を図る。この授業では、テキストの前半の Chapter1 から Chapter7 までを取り上げる予定である。

[No. 1-2] News 1: Japan ruling bloc loses majority in Upper House; Ishiba vows to remain PM

[No. 3-4] News 2: Tariff Uncertainty Likely to Weigh on Global Growth Even After Extended Talks

[No. 5-6] News 3: Japan Determined to Strike Fair Trade Deal With U.S.
[No. 7-8] News 4: Trump leaves G7 Summit early over growing tensions in Middle East
[No. 9-10] News 5: China's aircraft carriers send message in the open Pacific for the first time — and bigger and more powerful ships are coming
[No. 11-12] News 6: Trump signs 'big, beautiful' bill on U.S. Independence Day
[No. 13-14] News 7: Trump moves to block US entry for foreign students planning to study at Harvard University
[No. 15] これまでの復習
準備学習（予習・復習）： 予習：文章中の知らない単語や成句等の表現を調べ、ある程度文章の内容を理解しておく。また、練習問題に関しては、答えを考えておく。(1 時間)/復習：授業中に確認した単語・表現や文法事項、練習問題の解答等を再度確認し、文章の内容に関し理解を深めておく。(1 時間)
授業形態： 講義
課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法： 期末試験の成績(100%)で評価する。
教科書： 『English for Mass Communication — 2026 Edition —』 堀江洋文 他著(朝日出版社)

C 組 1 班 中野 里美(非常勤講師)

国内外のニュース記事を読み、語彙、文法、構文、表現に注意して精読し、高度な内容の英文に慣れることを目的とします。なおかつ、大学生として知っておくべき世の中の情勢にも目を向け、情報を得て、興味の範囲を広げていくことを目標とします。進度として、テキストは前期で半分程度を予定しています。

[No.1] introduction
[No.2] Confronting backlash, 193 nations commit to speed gender equality
[No.3] Japanese Novelist Asako Yuzuki 'Butter' in Reaction to Male Media
[No.4] In South Korea, deepfake porn wrecks women's lives and deepens conflict
[No.5] Greenlanders unite to fend off the US as Trump seeks control of Arctic Island
[No.6] Latin Countries Accept Deportees from US
[No.7] Mexico's Sheinbaum mocks Trump's 'Gulf of America'
[No.8] White House bars AP reporter
[No.9] Angry protesters from NY to Alaska assail Trump and Musk in rallies
[No.10] Macron Says European Force for Ukraine Could 'Respond' If attacked by Russia
[No.11] Turkey and Israel face mounting tensions over post-Assad Syria
[No.12] We tried DeepSeek. It worked well, until we asked about Tiananmen and Taiwan
[No.13] Trump Officials Texted War Plans in Secure App
[No.14] Sites urge Australian to delay child ban
[No.15] まとめ

準備学習（予習・復習）： 予習：事前に注を参考に読み進めておき、分からない箇所がないか調べておきましょう。分からない箇所は授業で疑問解消していきましょう。(1 章ごとに約 30 分前後)

復習：資格試験などを今後、受験する際には問題として使用される語彙や内容も出てきます。それを意識して自分が活用することを想定して内容を見直したり、さらに調べたり、覚えたりしていきましょう。(1 章ごとに約 30 分前後)

授業形態： 課題解決型学習、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法： 課題(レポート、試験等)のフィードバックについて：講義や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。

成績評価方法： 平常点(30 %)：ウォーミングアップで配布する TOEIC reading やテキスト内の Multiple Choice、True or False の問いや、こちらからの質問に答えるものなど、試験(70 %)で評価します。

教科書： English through the News Media 2026 Edition by Asahi Press

(ISBN:978-4-255-15748-1) テキストは必ず購入してください

参考書： あれば授業内で紹介するか、プリントを配布します。

その他： 不明な点があれば質問して下さい。

S 組 1 班 杉本 悠(非常勤講師)

本授業では、社会、芸術、科学などさまざまなトピックを扱う最新の教材を用い、ある程度まとまった量の英文(500 語程度)を正確に、速く読む訓練を行う。また単なる文章理解だけでなく、教科書に基づいた演習問題を通じて語彙や文法も含めた総合的な読解力の涵養を図る。2 回で 1 単元のペースで進み、2 週に 1 度、それまで読んだ文章の内容を簡単に要約してもらう。学生には、文章の音読や質問への解答、文法事項の確認など、積極的な授業参加を求める。

[1] Introduction
[2-3]Unit 1 Music and the Mind < The Arts >
[4-5]Unit 2 Body Language across Cultures < Culture >
[6-7]Unit 3 Turning Waste into Wealth < The Environment >
[8-9]Unit 4 The Search for Other Worlds < Space >
[10-11]Unit 5 Crowdsourcing < The Internet >
[12-13]Unit 6 Urban Landmarks < Architecture and Identity >
[14-15]Unit 7 Food Safety < Health >

準備学習（予習・復習）： 予習: わからない単語や文法について事前に調べ、教科書にメモしておく(30-40 分)。

復習: 授業で読んだ範囲をもう一度読み直し、簡単に要約して概要を把握しておく (30 分)。

授業形態: 講義

課題 (レポート、試験等) のフィードバック及び成績評価方法: 小テスト (15%)、課題 (15 %)、期末試験 (70 %)

教科書: Benett, Andrew E. Reading Fusion 1, 2nd Edition. 南雲堂, 2025.